

町長30%、副町長15%の給料カットも

「減額率が低すぎる」「など反対多数

町長・副町長の給与を平成19年7月1日から平成19年9月30日までの3カ月間、町長は30%、副町長は15%減額するとした条例案は、「減額率が低すぎるのではないか」「今後の防止策が示

されていない」などの反対意見があり、起立採決の結果、否決されました。主な質疑概要は次のとおりです。

問 減額率を町長30%、副町長15%とした根拠は、減額率が低すぎるのではないか。

例を参考とした。その時の減額率に町長は10%、副町長は5%上乘せした。全員協議会での説明の際に、減額率が少ないとの意見が多数とは理解できなかった。

町長 今回の問題は関係課の相互チェックが機能しなかったことが大きな反省点である。チェック機能が正常化するよう、庁議で十分協議し、全職員への周知を行っていく。内部機関の立ち上げは、先進例があるかどうか含めて検討する。

山崎泰昌 議員
この問題は、818万円もの町民の血税の無駄遣いであると言わざるを得ない。町長の施政方針で述べられた「徹底した行政改革と堅実な財政運営のもとに住民の要請に応える町政」町民により近い、町民の目線に立った町政」という立場から外れている。もつと町民の目線に立った行動を求める。

反対討論

私は、町民に選ばれた立場に立っている。私を選んでくれた皆さまのため、是は是、否は否の立場を取る。

佐藤照彦 議員

今回の問題の発端は、行政のチェック機能が働かなかったことが大きな要因である。旧物産館を貸してほしいという要望があった際にきちんとして対応をしていけば、今回のように移転補償をしなければならぬ事態は避けられた。

町長が自ら処分を受けることについては、評価する方もあると思うが、これだけでは町民は納得できないと思う。今後二度とこういうことを出さないための組織的な手だてを講じる必要がある。



工場の操業がされていた旧マリパーク食堂

都市公園区域内の工場操業問題 沼崎町長の議会での謝罪(要旨)

旧マリパーク食堂などを貸し出して操業させていた工場が、都市公園区域内であることが判明した問題では、議員の皆さま、町民の皆さまに多大なご迷惑をお掛けしておりましたが、その対応をめぐるには町村会顧問弁護士や県市町村課とも相談してまいりました。その結果として町として工場の移転補償費を支払う義務があるとの見解が示されたことから、会社と補償費の額について協議を続けてまいりました。

今回の事務処理の瑕疵は、陸中山田マリパーク(株)の清算に伴い町に弁済された、店舗・食堂の位置付けが行政財産か、普通財産か、また、公園区域内か、公園区域外か、さらに、遊休施設かどうかなどについての解釈に温度差を生じてしまったことや、企業誘致・雇用の場の拡大に対応しようとしたことによるチェック機能の不十分など、関係課の連絡・調整が十分でなく、正確な情報が伝わらなかったために生じたことであると考えております。

このことは、町長は全体的な責任者として、副町長は実務上の最高責任者として、関係課長は担当事務の責任者として、職務への対応および事務の監督が不十分であったと言わざるを得ません。

このため、本件の責任を明確にするため私を含め副町長、関係課長の処分を行うと考えてあり、今定例会には私と副町長の給料の減額条例も提出したところでありますのでご理解をお願いします。

今後は、職務と責任の重さを十分に認識し、このようなことが起こらないよう、なお一層気を引き締め、職員を指導監督し町民の福祉向上のため正確な事務事業の執行に努めてまいります。

改めて、町民の皆さま、議会の皆さまに対し、今回の問題を深く反省し、陳謝申し上げます。